

がん治療緩和ケア解説

勝山医師らが公開講座

医師らが最新のがん「**り**」「化学療法」など治療や緩和ケアについて解説する公開講座

「岡山メディカルカフェ in 真庭」(県、岡山大学大学院緩和医療学講座主催)が18日、真庭市勝山の勝山文化ホールで開かれた。

市内の医療機関や同大の医師ら10人が「胃がん」「肺がん」「がん患者の在宅での看取

「化学療法」などをテーマに30分ずつ講演した。同大学院医歯薬学総合研究科の松岡順治教授は緩和ケアについて「病の痛みやつらさをコントロールし、力強く生きることをサポートする医療」とし、ケアにつなげるため「例えば痛いときは医師に痛い伝えてほしい」などと呼び掛けた。会場には多くの市民が訪れ、メモを取りながら聞き入ったり、講師による医療相談コーナーを利用していた。

同カフェは、がん治療への理解を深めてもらうことで患者の生活の質向上につなげようと、県内の医療関係者などで取り組む「野の



大勢の市民らが詰めかけたメディカルカフェ

花プロジェクト」の一会の協力で開かれ7回環。今回は真庭市医師 目。(三島翔)